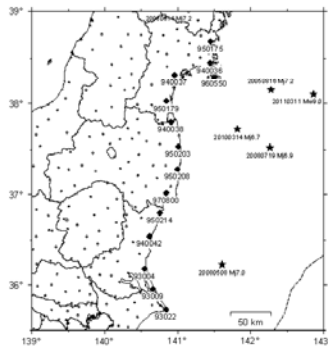


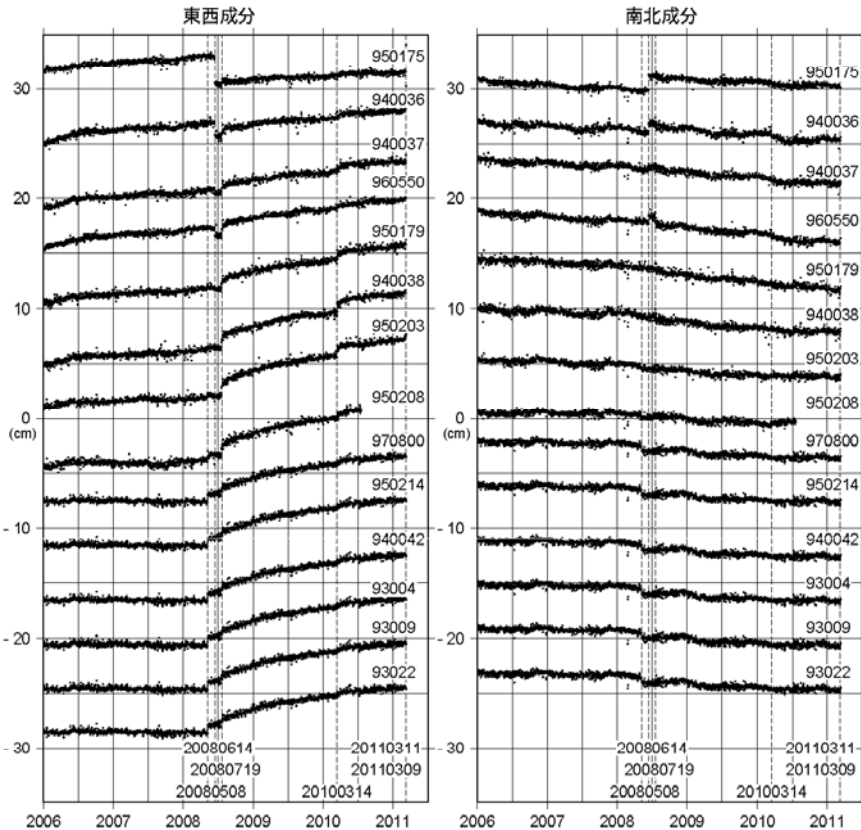
GPS観測によるプレート境界滑りの変化(国土地理院)

宮城県・福島県・茨城県・千葉県のパシフィック岸の非定常地殻変動時系列

東西成分で2008年、2010年の地震後の変動が顕著。



最終解 1996/4/10 - 2011/3/10
固定局：岩崎 (950154)

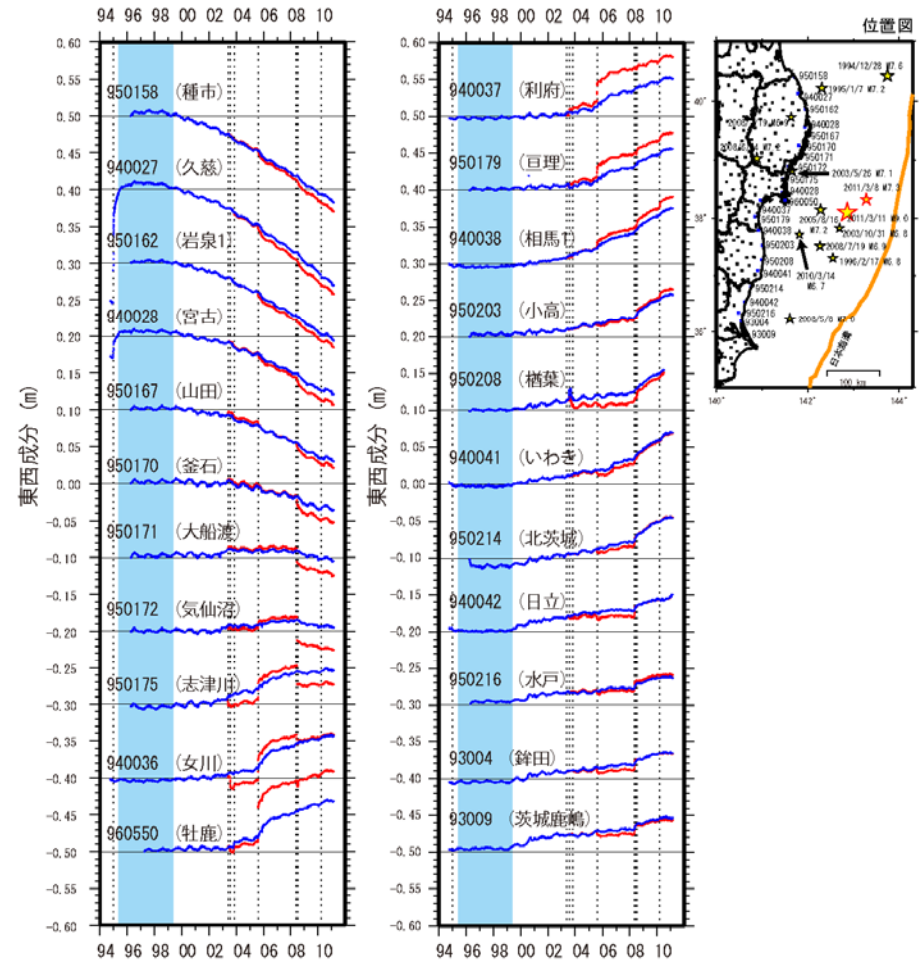


松澤委員資料

・1997年1月～2002年1月のデータから平均変動速度、年周/半年周成分を推定して、元の時系列データから除去している。
・楯葉 (950208) : 20100720 移転

太平洋岸のGEONET観測点のGPS連続観測時系列 (東西成分)

2000年前後から福島県・茨城県の観測点において東向きの変位成分の増加が見られ、2003年頃からは宮城県でも東向きの変位成分の増加が見られる。一方、岩手県の観測点では、三陸はるか沖地震の余効変動が小さくなったことにより、西向きの変位成分の増加が見られる。



- ・固定局は、940049 (村上)。
- ・水色の期間 (1995/4-1999/3) でトレンド(1次成分のみ)を推定し、除去している。
- ・赤はトレンドのみ除去した時系列。青は地震に伴うオフセット (2003年5月26日宮城県沖、2003年7月26日宮城県北部、2003年10月31日宮城県沖、2005年8月16日宮城県沖、2008年5月8日茨城県沖、平成20年岩手・宮城内陸(2008年6月14日)、2008年7月19日福島県沖、2010年3月14日福島県沖の各地震)も除去した系列。時系列は30日間の移動中央値 (メジアン) をとって平滑化している。
- ・点線はオフセットを除去した上記の地震と平成6年三陸はるか沖地震 (1994年12月28日) の発生日を示す。